



しゃくなげ

令和2年
12月18日号

「さかなクン」に思う ～好きこそものの上手なれ～

シアトル日本語補習学校長 柏 隆

日本で魚類学者・タレント・イラストレーターとして活躍されている「さかなクン」をご存知でしょうか？魚の豊富な知識と経験に裏付けされた軽妙なトークと甲高い声と高いテンションで話す姿が印象的な「さかなクン」。先日、TV ジャパンの番組で、自宅の「フィッシュ・ハウス」と呼ぶ魚飼育場が紹介されていましたが、所狭しと置かれた大・小の水槽と魚に関する書籍に圧倒されました。この「フィッシュ・ハウス」の外観も、2つの窓を魚の目に模した「ハコフグ」とのこと。魚への愛に溢れています。

頭に帽子のようにいつも載っている魚も「ハコフグ」だそうです。「さかなクン」が小学生の頃、ある魚屋の水槽を眺めていたら、不器用な感じで泳ぐ、つぶらな瞳とおちょぼ口がかわいいう四角い体の魚を見つけました。体長10センチほどの小さな魚でしたが、水槽内の大きな魚にドンとぶつかっても、へこたれずにひれをバタバタさせて、ちゃんと泳ぎ続ける一生懸命な姿を見てとても感動したそうです。そして自分も「何か壁にぶつかったとしても、ハコフグみたいに元気に頑張ろう！」とあって、勇気をくれたハコフグを常に頭にのせるようになったとのことです。大好きな魚たちが自分に「生きる力」を与えてくれるのだそうです。

「さかなクン」が魚類に興味をもったのは、小学2年生の時、友達が描いた迫力あるタコの絵を見て「こんな生き物が本当にいるのか？」と思ったのがきっかけだそうです。すぐに図書室で調べてから家の人に頼んでスーパーに行き、丸ごとの「ゆでダコ」を買ってもらって食べました。そして次は、元気なタコを見てみたいと、海の近くの親戚の家に泊めてもらい、海に入りタコ探しをしました。その時はタコは捕まえられなかったのですが、イソギンチャク、アメフラシなどの多くの海の生き物に出会いました。その後のある日、家の人がいろんな種類の魚の写真がのっている下敷きを買ってくれたことがあって、「海にはタコ以外にもいろいろな魚がいるんだな」と思い、どんどん興味が広がっていったそうです。その興味が、かつて絶滅したと思われていた「クニマス」の70年ぶりの発見につながり、今は魚博士として東京海洋大学の教壇にも立っていることにつながっているのです。

子どもは好奇心が旺盛で、実にいろいろなことに興味をもつのが特性です。もしかしたらある時、自分に本当にぴったり合うものに出会うことがあるかもしれません。また、いろいろなことに頭をつっこんではいても、なかなか熱中するまではいかないように見える子どもも、今必死にそういうものを探している最中なのかもしれません。

「さかなクン」のように“極める”ところまでいかななくても、何かに深く熱中できれば、その分野に詳しくなるので自分に自信がもてるようになり、ここから自尊感情が育つこともあるでしょう。また、楽しく熱中して取り組んでいるときに、たくさん頭を使うので、思考力・記憶力・読解力・情報収集力・情報活用能力・集中力などが身についていくこともあるはずです。大人がしてあげられることは、子どもの熱中していることは応援してあげること、そしてどんどん誉めてあげること。子どもを伸ばす秘訣の基本はいつでも同じだと思います。

「夢中になれるものは喜びに直結しているので、“生きる力”になります。自分の場合は魚を通して様々な人と出会うことができました。漁師さん、水族館の人たち、市場の人たちなどとお話をしゆく中で、世界がどんどん広がりより深くなっていきました。夢中になれるものを持っていると、仲間ができて、輪が広がっていく。こうして宝物がどんどん増えて大きくなっていきます。」（さかなクン著「さかなクンの一魚一会」～毎日夢中な人生～）小学校の卒業文集に書いた「東京水産（現東京海洋）大学の先生になって、お魚の図鑑を作りたい」という夢を叶えた「さかなクン」の言葉です。

夢中になったものは一つでも、いつの間にかそこから派生したもので広がりが増し、有形無形の財産がどんどん膨らんで行く。夢中に過ごす“夢の中”は“豊かな現実”への入口として、大切にしたい時間であると思います。

コロナ禍で家で過ごす時間が多くなり、子どもが興味のあることに費やす時間も増えていると思います。つい「もうやめなさい」と言ってしまう前に、子どもの興味に関心を示すこと、興味を尊重し、見守ることも大切なことかもしれません。

○今後の学習支援について

B. S. D から、1月以降も現地校での完全な形での対面授業の再開見通しが立たないため、補習校への校舎貸与は行わない旨の通知がありました。状況は不透明ながら、少なくとも本年度3月一杯までは、対面授業が再開できないことを前提で今後の学習支援を考えていく必要があります。

今後、本校は学習支援を次の方針で進めていきたいと思います。

① 本年度、1月から3月まで

- ・幼稚園部はオンライン裁量の時間を延長する。
- ・小学部では、教科2コマ（国語・算数）のオンライン授業を実施し、オンライン学習活動を延長する。
- ・中高部は、基本現状の学習支援を継続する。

② 新年度も対面授業ができない場合

4月からは、可能な学部・学年において、時間数をさらに増やすなど、オンライン授業を拡充して実施する。

※先月号でお知らせした、19日の全体保護者会及び学級懇談会でさらに具体的な説明をします。

○令和元年度 小学部・中学部卒業式について

12月以降対面授業ができる可能性があった時点では、せめてドライブスルー方式であっても卒業証書を直接授与できないか検討してきました。しかし、現状では難しくなっていました。

そこで卒業証書はご自宅に郵送し、1月23日に校長式辞と答辞など、内容を精選し、オンラインで卒業式を実施したいと考えています。

具体的な内容は式への招待メールとともに当該卒業生のご家庭に、追ってお知らせいたします。

○令和3年度 園児募集のご案内

令和3年4月の入園児を以下の要領で募集いたします。

詳細は、本校ホームページ内のブログをご参照ください。

リンク→<https://jp.bloguru.com/seajschool/389677/2020-12-09>

○各種コンテスト・検定受賞のお知らせ

【第三十一回伊藤園お～いお茶新俳句大賞】

昨年度「第三十一回伊藤園お～いお茶新俳句大賞」に応募した本校児童・生徒の作品から、次の3作品が「佳作」に輝きました。（総応募数：195万4,888句）

☆ 「きがつけばあたりはすっかりクリスマス」 小5-2 佐々木 ひすい

☆ 「初日の出直角の光が問いかける」 中1-2 川澄 美紅

☆ 「まわるまわる頭の中の地球儀が」 中2-1 和田 理紗

【伊藤園お～いお茶新俳句大賞とは】

「伊藤園お～いお茶新俳句大賞」は、感じたことや思ったことを、季語や定型にこだわることなく、五・七・五のリズムにのせてのびのびと表現していただき、どなたでも自由な発想でご応募いただけるコンテストとして1989年（平成元年）からスタートしました。（ホームページより抜粋）

今年度は、他のコンテストと同様、学校でまとめて募集することはできませんので自由参加になります。下記リンクからトップページにアクセスし、「募集要項」のページをご覧ください、応募してください。

リンク→[「伊藤園お～いお茶新俳句大賞」トップページ](#)

【津田塾大学第3回エッセーコンテスト Jr.】

津田塾大学英語英文学科主催の[第3回エッセーコンテスト Jr.](#)におきまして、6年生の杉浦大輝くんのエッセー「My Favorite Word」が奨励賞を受賞しました。

【日本漢字能力検定】

昨年2月に実施した日本漢字能力検定の合格者は、10級・9級がそれぞれ17名、8級9名、7級7名、6級12名、5級4名、4級9名、3級6名、準2級5名、2級1名でした。家族表彰は12家庭が受賞されました。

以下に、家族表彰を受賞されたご家庭の保護者からいただいたメールを紹介いたします。

…今回、私が一念発起して漢字検定2級に挑戦いたしましたのは、ひとえに娘の励みになればと思つてのことでした。

もっと言いますと、非常に大人しい子ですので、家族で表彰されればクラスでも少しは注目されるかな、と淡い期待を抱き、年甲斐もなく猛勉強いたしました！…

小学3年生シュレーゲル カンナ 母

本年度は漢字能力検定を実施することはできませんが、来年度、保護者の皆様のチャレンジも楽しみにしています。

○令和3年1月から3月授業料について

時限的措置として、1月から3月までの授業料の減額が決定致しました。

	月額授業料	
		商工会登録会員
幼稚園	\$ 195 ⇒ \$ 135	\$ 175 ⇒ \$ 115
小学1年～中学3年	\$ 180 ⇒ \$ 120	\$ 160 ⇒ \$ 100
高校1年～高校3年	\$ 205 ⇒ \$ 140	\$ 185 ⇒ \$ 120

- ・2021年4月以降の授業料につきましては、改めてご連絡いたします。
- ・授業料の延納をご希望される方はご連絡ください。

○Outlook の配信エラーメッセージへの対応について

最近 Outlook でメールを送ると、

次の受信者またはグループへの配信に失敗しました：

○○○○ (○○○○@seattlejschool.org)

受信者側の電子メールプロバイダーによって拒否されたため、メッセージを配信できませんでした。

というエラーメッセージが返ってくるケースが多く報告されています。

本校では、セキュリティを守るため、学校アカウント宛メールの転送を禁止しています。したがって、上のようなメッセージが出た場合、まずは送信先が他のアカウントにメールの転送設定をしている可能性が高いので、相手にそのことを確認していただき、もし設定をしているようでしたら解除していただくようお願いください。

しかし、「セキュリティを守るためにメールを転送しないというのは分かるが、いちいちアカウントを切り替えて Outlook にサインインするのは面倒」というお声もいただいています。

保護者のパソコンや携帯でお子様の学校アカウントへのメールをご覧になりたい場合は、次の方法を勧めします。(上の Outlook の配信エラーが出ない方法です)

1. Office 365 の Outlook を使っている場合

Outlook のメニューリボンの「ファイル」から「アカウント設定」を選び、子どものアカウントを追加してください。

2. 携帯からお子様のアカウントへのメールを見たいという場合

App Store、Microsoft ストアなどから Microsoft Office(無料版)をダウンロードし、お子様のアカウントでセットアップしてください。

3. 保護者の PC に Office 365 の Outlook がインストールされていない場合

ブラウザ版の Outlook を使ってください。セットアップの仕方は本校ホームページ上のセットアップマニュアル P25 からをご参照ください。

○保護者懇親会に関するお願い

保護者の皆様から、「昨年度までカフェテリアで行っていた保護者懇親会を、オンラインで行うことはできますか」というお問い合わせをいただくことがありました。

保護者懇親会は、これまでも保護者が主体となって行う自主的な活動という位置づけですので、オンラインで行うことについては、本校の施設を利用するものでもありませんから、基本的に学校が関与するものではありません。

ただし、以下の点についてはご理解いただきますようお願いいたします。

- ・本校 Teams 上で懇親会を開くのは控えてください。学校のアカウントはお子様の学習用に配付したものです。学校アカウントで本校 Teams 上のミーティングに参加した場合、参加者の履歴やチャットの会話、アップロードしたデータなどを、お子様が閲覧できる状態になってしまいます。
- ・実施日が土曜日(授業日)で、クラス委員さんが全員に声かけした懇親会については、学級担任に連絡してください。
- ・対面授業時に提出していただいていた記録の作成・提出の必要はありません。
- ・任意で一部の保護者が行う懇親会は学級担任に連絡する必要はありません。